

## 「檜葉の風」と命名 日本酒プロジェクト

福島民友ニュース( 2017/12/13 10:03 )

檜葉町内で今年秋に収穫された酒米を使った日本酒を造るプロジェクトで、日本酒名は「檜葉の風」となる。松本幸英町長らが12日、酒を醸造する会津美里町の白井酒造店を訪問し、発表した。

松本町長のほか、プロジェクト委員会長の渡辺清町商工会長、発起人の堀切吉雄恵和興業環境・リサイクル本部長、遠藤俊行檜葉町新産業創造室長が白井栄一同酒造店代表社員を訪ねた。

松本町長は「町の酒を造ることで、一歩でも二歩でも前に進みたい」とあいさつ。渡辺会長が「白井酒造店の人気酒『風が吹く』から1文字もらい、檜葉に良い風が吹くよう願って命名した」と話した。白井代表社員は「心を込めておいしい酒を造りたい」と決意を述べた。

檜葉町内で今年から作付けが始まった酒造好適米「夢の香」を使い、純米大吟醸酒と特別純米酒を一升瓶換算で計約2500本分醸造する。4月ごろから檜葉町振興公社や町内のスーパーなどで販売するほか、町外での販売も検討する。



日本酒名「檜葉の風」を発表する(右から)松本町長、白井代表社員、渡辺会長